

安全データシート

作成日 2010年 12月 28日

改訂日 2022年 5月 6日 (第2版)

1. 化学品及び会社情報

製品名称 塩酸
推奨用途 工業用
会社名 健栄製薬株式会社
住所 大阪市中央区伏見町2丁目5番8号
担当部門 学術情報部
電話番号 06-6231-5822
FAX 番号 06-6204-0750
連絡先 健栄製薬株式会社 学術情報部

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

【物理化学的危険性】

金属腐食性化学品 : 区分1

【健康に対する有害性】

急性毒性 (経口) : 区分4

急性毒性 (吸入) : 区分4

皮膚腐食性/刺激性 : 区分1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1

呼吸器感作性 : 区分1

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分1 (呼吸器系)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分1 (歯・呼吸器系)

【環境に対する有害性】

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分1

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。

GHS ラベル要素

【絵表示又はシンボル】



【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

金属腐食のおそれ
飲み込んだ場合や吸入した場合は有害
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷
吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
臓器の障害（呼吸器系）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（歯、呼吸器系）
水生生物に非常に強い毒性

【注意書き】**[安全対策]**

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
他の容器に移し替えないこと。
ガス、ミスト又は蒸気を吸入しないこと。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
環境への放出を避けること。
【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。
耐酸性の保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

[応急措置]

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

[保管]

施錠して保管すること。
耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

[廃棄]

内容物／容器を地方／国の規制に従って廃棄すること。

GHS 分類に関係しない又はGHS で扱われない他の危険有害性

火災の場合は消化に棒状水、霧状水等を使用すること。
容器の栓を開くときは容器内に多少圧力があり、内容物が吹き出すおそれがあるので、容器の口は顔・体の方にむけないよう、特に注意し徐々に開栓すること。
多くの金属を腐食して可燃性のガス（水素）を生成するので、特に注意すること。
可燃性及び還元性物質、強酸化剤、強酸等と混合しないこと。
可燃性物質、還元性物質、強酸、強塩基、強酸化剤、金属から離すこと。
子どもの手の届かない所に保管すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	CAS 登録番号	含有量	化審法番号
塩化水素	7647-01-0	35%	1-215

注記：この値は製品規格値ではありません。

GHS 分類に寄与する成分 : 毒物及び劇物取締法「劇物」該当成分
塩化水素
安衛法「表示すべき有害物」該当成分
塩化水素
安衛法「通知すべき有害物」該当成分
塩化水素

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
目の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

【消火剤】

適切な消火剤 : 棒状水、霧状水
使ってはならない消火剤 : データなし

【特有の危険有害性】

特有の危険有害性 : 加熱すると容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

【消火を行う者への勧告】

特有の消火方法 : 関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 防火服又は防災服を着用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 回収が終わるまで十分な換気を行う。
保護具及び緊急時措置 : 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項 : 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、密閉できる耐腐食性容器に回収する。
二次災害の防止策 : 漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

- 技術的対策 : (取扱者のばく露防止)
ガス、ミスト又は蒸気を吸入しないこと。
(火災・爆発の防止)
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
(注意事項)
皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
(局所排気・全体換気)
排気/換気設備を設ける。
- 安全取扱い注意事項 : 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
耐酸性の保護手袋、保護衣、保護面を着用すること。
保護眼鏡、保護面を着用すること。
取扱中は飲食、喫煙してはならない。
- 接触回避 : 塩基、酸化性物質
- 衛生対策 : 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

- 安全な保管条件 : 容器を密閉しておくこと。
直射日光を避け、換気の良い涼しい場所で保管する。
施錠して保管すること。
- 安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン

8. ばく露防止及び保護措置

【管理指標】

- 管理濃度 : データなし
- 許容濃度 : (塩化水素)
日本産衛学会(2014) (最大値) 2ppm; 3.0mg/m³
(塩化水素)
ACGIH(2000) STEL: 上限値 2ppm (上気道刺激)

【ばく露防止】

- 設備対策 : 適切な換気のある場所で取扱う。
洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。
- 保護具 : (呼吸用保護具)
呼吸用保護具を着用すること。
(手の保護具)
耐酸性の保護手袋を着用する。
(眼の保護具)
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
-

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 無色
臭い	: 刺激臭
pH	: 強酸性
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性 (ガス、液体及び固体)	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／ 可燃限界	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対ガス密度 (空気=1)	: 1.3
密度及び／又は相対密度	: 1.18g/mL
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 空気中で発煙する。
危険有害反応可能性	: (塩化水素) 水溶液は、強酸である。塩基と激しく反応し、腐食性を示す。 酸化剤と激しく反応する。有毒なガス(塩素)を生じる。水の存在下 で、多くの金属を侵す。引火性/爆発性ガス(水素)を生じる。(ICSC 0163)
避けるべき条件	: 混触危険物質との接触。 火源との接触。
混触危険物質	: 塩基、酸化性物質
危険有害な分解生成物	: 塩素、水素

11. 有害性情報 (本製品に関する情報がないため、塩化水素の情報を記載する。)

急性毒性 (経口)	: ラット LD50=238mg/kg (SIDS, 2009)
急性毒性 (吸入)	: gas ; ラット LC50=1411ppm/4hr (SIDS, 2009)
皮膚腐食性/刺激性	: ラビット/マウス/ラット/ヒト 腐食性 (SIDS, 2009)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: ラビット 腐食性 (SIDS, 2002)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: (呼吸器感作性) cat. 1; 日本職業・環境アレルギー学会
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: IARC-Gr. 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない ACGIH-A4(2000): ヒト発がん性因子として分類できない
生殖毒性	: データなし

特定標的臓器毒性

単回ばく露	: [区分 1] 呼吸器系 (ACGIH, 2003)
反復ばく露	: [区分 1] 歯、呼吸器系 (SIDS, 2002)
誤えん有害性	: データなし

12. 環境影響情報 (本製品に関する情報がないため、塩化水素の情報を記載する。)

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)	: 甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.492mg/L/48hr (SIDS, 2005)
水溶解度	: 67g/100ml (30°C) (ICSC, 2000)
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: log Pow=0.25 (ICSC, 2000)
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意**【化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報】**

廃棄物の処理方法	: 内容物／容器を地方／国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装	: 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意**【国際規制】**

国連番号、国連分類

国連番号	: 1789
正式輸送名	: 塩酸
分類または区分	: 8
容器等級	: III
指針番号	: 157
特定規定番号	: 223

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号	: 1789
正式輸送名	: 塩酸
分類または区分	: 8
容器等級	: III
特定規定番号	: 223

IATA 航空危険物規則書

国連番号	: 1789
正式輸送名	: 塩酸
分類または区分	: 8
危険性ラベル	: Corrosive
容器等級	: III
特定規定番号	: A3 ; A803

環境有害性

MARPOL 条約附属書Ⅲ－個品有害物質による汚染防止	
海洋汚染物質 (該当/非該当)	: 該当
MARPOL 条約附属書Ⅴ－廃物排出による汚染防止	
特定標的臓器毒性、反復ばく露	: 区分1 該当物質 塩化水素
水生環境有害性: 短期(急性)	: 区分1 該当物質 塩化水素
バルク輸送における MARPOL 条約附属書Ⅱ	: 有害液体物質 (Z 類)
改訂有害液体物質及び IBC コード	塩化水素

【国内規制がある場合の規制情報】

船舶安全法	: 腐食性物質 分類8
航空法	: 腐食性物質 分類8

15. 適用法令

【当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令】

労働安全衛生法	: 特化則 特定化学物質 第3類 塩化水素 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 名称表示危険/有害物 塩化水素(別表第9の98) 名称通知危険/有害物 塩化水素(別表第9の98) 腐食性液体 (規則第326条) 塩化水素
化学物質排出把握管理促進法	: 該当しない
毒物及び劇物取締法	: 劇物 (令第2条) 塩化水素(法令番号 16)
消防法	: 危険物の規制に関する政令別表第2: 劇物 (届出数量 200kg) 塩化水素
大気汚染防止法	: ばい煙 有害物質 政令第1条第1号から第5号 塩化水素 特定物質 政令第10条第1号から第28号 塩化水素
水質汚濁防止法	: 指定物質 塩化水素 法令番号 5

16. その他の情報

【参考文献】

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (7th revised edition, 2017), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN

IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (Table 3 ECN06182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2020 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7252:2019

JIS Z 7253:2019

2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

【責任の限定について】

本記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであり、特殊な取扱いの場合には用途に適した安全対策を実施の上でご利用下さい。記載内容は情報提供であって保証をなすものではありません。
